

◆ワークショップまとめ（久松地区）◆

□ 付箋紙の意見をまとめました

1. 空き家の持ち主の意見

- ・ 物件を貸すことによる社会貢献
- ・ 空き家を誰にでも貸すというのは怖い（素性の知れた人に貸したい）
- ・ 確実なマネタイズ（収益事業化）は欲しい（きちんと家賃等を支払えるかどうか）
- ・ 居住してくる人の凝りすぎるリノベーション・リフォームの金銭面等のリスクマネジメントはきちんと出来ているのか

2. 久松地区・空き家の現状

- ・ 自宅の離れの物件を持っている方が多い
- ・ 久松地区は少子高齢化かつ一人暮らしの高齢者が多く目立つ（将来、空き家はどんどん増えていく）
- ・ 外部から久松地区は敷居が高いと思われている（敷居を高くしていたと思われる高齢者が少なくなったため、実際には敷居は高くはない）

3. 空き家の課題

- ・ 空き家になるとゴミの不法投棄があり、環境が悪くなり、空き家に住みたいと思う人を減らしてしまう
- ・ 自分の住んでいる地区外に空き家を持っている人は空き家を管理しない
- ・ 空き家を潰してしまっって駐車場やマンションにしてしまったほうが管理は楽になる
- ・ 家賃が欲しいだけなら不動産に情報提供をしたほうが良い

4. 空き家に住みたい人の疑問

- ・ 空き家に住みたい人がいるが、その空き家の所有者が分からない
- ・ どれが、空き家なのかわからない
- ・ 使用可能な空き家がどの程度あるのかわからない

5. 住民・不動産の情報力

- ・ 貸し手と借り手のマッチング場作りがない
- ・ 不動産屋が所有している空き家情報が全てではない（拾いきれていない空き家が数多く存在している）
- ・ 回覧板での情報提供では、情報は行き渡らない

6. アイデア

① 空き家の利用方法

- ・ 外国人を含む観光客の民宿対応（ホテルだと周りの部屋への気配りが必要）
- ・ イベント時ホテル不足の助けとなる
- ・ 所有者側が「どう利用して欲しいか」の想いを尊重した使い方

② 地域コミュニティー

- ・ 学生に空き家を利用してもらうことで街の活性化が変わってくる
- ・ 久松地区で大学生をまず見かけない

- ・ 若い人のイベント・声かけがほしい
- ・ 公民館祭り等の地域主催のイベントの参加を多くしたい（若者）

③ マッチング

- ・ 貸し手と借り手のマッチング場作りを行う
(貸し手と借り手が対面でマッチングできるため、お互い安心できる)
- ・ 町内会に参加することで空き家情報を常に共有

久松地区の総括

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 空き家を活用するためには、空き家の所有者の「空き家をこのように使ってもらいたい」といった想いを尊重することも大切である。(2) 町内会の催しなどを通じて地道に空き家の情報を共有し、貸し手と借り手が対面してマッチングできる場や仕組みを作ることが必要である。 |
|--|